

一般質問とは、町の施策等について、議員が町に考えや意見を求めるものです。議会だよりでは、このやりとりを要約して報告します。



30年後、50年後の
小川町をこんな町に。

かさはら たけし
笠原 武が問う

将来をきちんと見据えた町政を

Q 町長の公約の中で、唯一具体的だったのが「仙元山を桜の山にする」だった。今でも実行しようとしているのか。

A 町長 地権者との折衝など障害はありますが、絶対にやります。

Q 多くの市町村には、その地域独特の記念館や博物館がある。当町にも仙覚律師、山岡鉄舟、金子兜太、田山花袋など、町と縁の深い有名人がたくさんいる。また、地質学的にも岩石の種類が多いという特異な地でもある。「歴史文化記念館」「鉱物博物館」などを将来建設計画に入れたらどうか。

どうか。

A にぎわい創出課長 小川町第5次総合振興計画で「各種資料が分散保管されている現状を踏まえ、保管・公開・施設のあり方について検討します」としてあります。長期的展望を持ち課題解決のため、今後も引き続き努力します。

Q 古寺鍾乳洞も県と協力し、手を打つてはどうか。

A にぎわい創出課長 かなりの時間と費用がかかることから、長期的な視野で考えていかなければなりません。町としても、その第一歩が踏み出せるよう、所有者との話し合いを始めています。

その他の質問
・国民健康保険の県単位化で被保険者への影響は



文豪の田山花袋も宿泊し、紀行文でも絶賛している割烹旅館。



請願採択から丸10年経過、進めたい下里の町道整備。

いぐちりよし
井口亮一が問う

防災の市町村中心の原則は

Q 災害は地震であれ、風水害であれ、住民に身近で実情をよく知る市町村が、それら防災の第一次的責務を担う役割を持つている。この「防災の市町村中心の原則」をどう捉え、対応していくのか。

A 防災地域支援課長 町では災害対策基本法を踏まえて、平成28年3月に小川町地域防災計画を改定し、災害の種類ごとに緊急時における住民の安全確保の場として「緊急避難所」と、被災者が一定期間滞在する「避難所」をあらかじめ指定するなど、その責務に対応した準備をしています。

ます。

Q 台風21号による大雨で、槻川や市野川、兜川の水位は危険な状態ではなかったのか。

A 防災地域支援課長 10月22日～23日にかけての大雨は、上横田地区の新川・市野川合流地点で河川越流が1カ所ありましたが、大きな被害を及ぼすような危険な状況ではありませんでした。

Q 下里地内、町道119号線の土砂崩れ箇所は、道路整備は、地区住民からの請願が採択され丸10年がたった。整備は、副町長 国などと工法や補助金活用等、相談してみたいと考えています。1日も早い整備実施に向けて、少しずつでも努力していきます。



下里地内、町道119号線、台風21号による土砂崩れ現場。



河川氾濫対策、事業仕分け本気でやる気ある？

おおとひさかず
大戸久一が問う

河川氾濫対策の遅れは人災では

Q 「下里二区・三区の柳町橋下流地域では、台風21号の影響による連日の長雨により河川の水位が上がり、敷地の一部及び前畑まで増水し、不安で眠れぬ一夜を過ごした」との報告を受けたが、県と相談し一日も早く具体的解決策を。

A 建設課主幹 現在、都幾川、市野川水系改修促進期成同盟会により、県に槻川の改修を含め要望を行なっています。該当箇所は、下里一区用水路の取水口と堰があり、川床も浅く、川幅も狭くなっている。さらに想定外のゲリラ豪

雨も各地で発生しており、非常に危険と捉えているが。

A 建設課主幹 町も危険と捉えていますが、河川対策は県であり改修計画の実現が待たれます。

効率的な行財政運営を

Q 各事業の見直し、民間活力の導入、産学官民の連携や協働も必要であり、費用対効果を念頭に、効率的・効果的な事業手法の選択や再構築が重要と考えるが。

A 政策推進課長 必要性や内容を精査し、新たな事業実施ではスクラップアンドビルドの考えを取り入れながら事業の見直しをしていきます。産学官民の連携を深め、より効率的・効果的な行政サービスや民間活力の導入に取り組んでいきます。



堰もあり、川幅の狭い柳町橋下流の農業用水取水口。



見やすく、毎回楽しみにしています

(G・Yさん・52歳)



文面にもっと振り仮名があるといい

ミニコラムがイラスト入りでおもしろい

(S・Tさん・39歳)



でも少し小さすぎるね

表紙の写真が「子供」ってところがいいですね

(Y・Sさん・70歳)

Mini Column
オガワマチのことギカイのこと
一緒に見よう、考えよう
「議会だよりのいいところ・悪いところ」